

HUMANE INTERNATIONAL NETWORK (HINT)

—HINT News Letter No. 39 目次—

| | |
|----------|----------------------------|
| Page1: | HINT 講演会のお知らせ |
| Page1-2: | 最上のもは過去にではなく未来に —20年目のHINT |
| Page2-3: | アフリカ事業報告 |
| Page3-4: | ベトナム事業報告 |
| Page4-5: | 役員・ボランティアからの一言 |
| page5: | 会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿 |
| page6: | 事務局からのお知らせ |

HINT 講演会のお知らせ

日時：2014年6月21日(土) 15:00~17:00

場所：カトリック松原教会 2階 ホール 世田谷区松原2-28-5 (6ページ地図参照)

講演者：オノレ・カブンディ カトリック司祭(松原教会助任・淳心会)、コンゴ民主共和国出身

題目：コンゴの危機と教育問題、希望をもって未来を迎える子どもたち

*同日14時からの総会(詳細は6ページ参照)に引き続き行ないません。

最上のもは過去にではなく未来に —20年目のHINT

代表 進藤重光

1994年12月に設立したHINTは、おかげさまで20年目を迎えることができました。この節目に、お支えいただきました皆様に深い感謝の意を申し上げ、あらためてHINTの設立経緯を振り返ります。

◆HINTの設立

1980年にネラン神父が創設した「エポペ」は、ボランティアの派遣や紹介を行う一種の案内所の役割も果たしてきました。1994年にアフリカのルワンダで起きた大虐殺は世界中を震撼させ、カトリック教会でも緊急の対策が話し合われました。そのような中で、かねてより教区の国際司牧委員会に属していた進藤自身の現地入りが決まったのです。ルワンダ難民が避難してきているコンゴ民主共和国(以下、コンゴ)のカリタスジャパン・ブカブ救援チームの第二次派遣団団長としての任務。外国人信徒のお世話係りだったとはいえ、アフリカの地を訪れるのは全く初めての身です。しかもスタッフの生命の安全とクリニックの維持管理、必要物資の調達という職責と向き合うことになりました。

このような厳しい現実を目の当たりに

しての帰国後私は、難民より貧しいコンゴの人々への支援を「エポペ」の仲間たちに提案することにいたしました。併せて、アフリカに派遣される前から依頼があった、ベトナム社会主義共和国(以下、ベトナム)の教会(ファンティエット教区)による支援要請も承り、「エポペ」とは独立したNGO団体(2002年にNPO法人格取得)HINTを設立することになったのです。

◆支援から学べること

以来、アフリカではコンゴ、そしてアジアではベトナムとの深く長い関係が生まれることとなります。こうして私たちは、アフリカにおける真の豊かさとそれを求める大国の思惑を知り、ベトナムからはNGOとしての政治的なバランスの難しさを学び、国際政治の片鱗を垣間見ることもなりました。そして、いかに善いことであっても、為すべきことには資金が不可欠であり、それを得る苦勞と喜びを肌で感じるようになったのです。

◆求められる支援とは

さて、この両国に共通する点として、

単に経済的な貧困率が高いということだけでなく、植民地としての重く辛い歴史を背負ってきているという面を見落としてはならないでしょう。強者が弱者から収奪することを当然のこととする社会は、人類の平和への道程を困難にさせるだけでなく、構造的に非人道的な世界を肯定することに他なりません。ローマ教皇フランシスコも、そのような社会は、決して人間的（ヒューメイン）ではないと使徒的勧告『福音の喜び』でも強く訴えておられます。

私たちはITやグローバル化の拡大の中で、新たな植民地主義とも呼ぶべき貧困の構造が固定化しないよう、互いに注意深く見守る必要があるのです。そのためには、市民による市民のための具体的な行動を通して、真に人間的な（ヒューメイン）・国際間の（インターナショナル）・結びつき（ネットワーク）を構築していくことが今こそ求められているのではないのでしょうか。どんなに私たち一人ひとりの力が小さくても、「できることを、できるときに、できるだけ、小さくても続けていく」。微力ではあっても無力ではない力の結集こそが、最上の未来に向かうことにつながるのです。

◆お礼とご協力をお願い

重ねて、20年に及ぶ、皆さまの温かいご支援に心より感謝しつつ、どうかこれからも共に歩いていくことができますようご協力を切にお願い申し上げます、役員一同を代表し御礼の言葉とさせていただきます。

アフリカ事業報告

アフリカ担当 藤井記雄

1. コンゴ、ブカヴ

HINTが小学生から大学生を支援している場所は、コンゴの東部にあるブカヴ(Bukavu)という都市です。ここは穏やかな気候と美しい景観に恵まれ、観光地として期待されていましたが、コンゴ東部の政情不安により、観光業の成長は絶望的な状態のようです。

コンゴは世界最貧国の一つであり、その中でも特に現地は治安もよくはなく、外務省のホームページを見ると邦人に退

避勧告が出ています。

2. コンゴの教育制度

- ① 義務教育
小学校 1年生～中学校 2年生(6～13歳)まで。しかし、教材や制服に加え、近年は教職員に対する人件費の負担も生じており、子供を学校に通わせることができない家庭も少なくありません。また、教職員に対する給与支払い遅延等の問題から、教職員によるストライキが頻発しています。
- ② 学校年度
9月～翌年6月末。2学期制。
- ③ 就学前教育
義務ではありません。裕福な家庭の子供は外国人学校等の幼稚園に入園します。
- ④ 就学状況
初等教育就学率 64%
中等教育 " 24%
- ⑤ 義務教育段階の学費
小学校 約1,300円/年
中学校 約1,600円/年
他に教科書代等が必要です。
- ⑥ 義務教育以降
高校 1～4年生(14～17歳)。



3. HINTの奨学金制度

2013年9月現在、HINTは、

- ① 小学生 12名(男子6、女子6)
- ② 中・高生 24名(男子13、女子11)
- ③ 大学生 1名(男子)

計37名の学生を支援しています。

年間予算は5,500ドル(約57万円)で、その用途の概略は、

- ① 3,000 ドルが学生達の授業料や教科書・文具代。
- ② 2,500 ドルが運営経費（人件費・事務所家賃・出張費等）です。

4. 運営上の困難な点



タデー氏

コンゴのコーディネーターはタデー氏。年齢は60歳。コンゴの平均年齢は49歳なので、長寿の方でしょう。彼とのコンタクトは①Eメール②電話です。両方ともコンゴならではの(?)の困難な点があります。

① Eメール

タデー氏とのコンタクトの主体となっています。皆さんはEメールを利用すれば頻りにタデー氏と連絡しあえると思われるでしょう。しかし実際はそうではありません。彼らはパソコンを所持していますが、ルーターは所持していないので、事務所でメールのチェックができません。近くにネットカフェがあるそうですが、3時間利用して料金が約5ドルと彼らにとっては高額です。さらにブカヴのインフラは貧しく、頻りに停電します。そのため時々隣国ブルンジまで行かなくてはなりません。（ブカヴ～ブルンジの距離は約155km：東京から那須塩原ぐらい）結果、我々の質問に返信が来るまでに10日ぐらいかかります。

② 電話

時々タデー氏から電話がかかってきます。それが日本時間の朝4時頃なのです（大泣）。東部コンゴとの時差は夏時間で7時間。先方は21時頃になります。電話の音で叩き起こされた状態で彼からの質問に十分な回答はできません。そこで先日、タデー氏に「電話をかける際は日本時間の23時、東部コンゴの16時頃をお願いしたい」旨のメールを送付しました。また、回線状態が悪いため、電話は常にとぎれとぎれで、会話がスムーズにできないことも辛いところです。

5. すべての子供たちに教育を

我々は奨学金を送ることで、「教育」という「無形」固定資産をコンゴに計上しているようなものです。形が無いから投資した効果が即座に現れ難いという欠点があるでしょう。しかし、逆に形が無いから朽ちることのない資産が形成される可能性もあります。最貧国に生まれようとも同じ人間です。可能性は誰もが秘めています。それを目覚めさせる手段が教育と考えます。それ故「HINTは微力ではあるが非力ではない」ことを強調します。

上述のとおり、コンゴとのコンタクトはしんどいのですが、私は相手を知ろうとするだけでなく、HINTが支援している人たちのためにどんなことができるかを考え、それを伝えていきたいと思えます。その積み重ねが、地理的にはとても遠いコンゴとの距離が心情的にはより近くなると信じています。そしてそれをこれからも継続していく所存です。

人間の顔はそれぞれ違うけれど、共通しているのは「人間は、みんな笑顔が美しい」コンゴの子供たちが笑顔で教育が受けられますように。

♪ツキを呼ぶには笑顔を見せること♪

ベトナム事業報告

ベトナム担当 末吉孝幸

1. 井戸から始まった支援

HINTのベトナム支援は、地元のカトリック教会（ファンティエット教区）による支援要請により、ベトナムの少数民族ラグライ族の住む貧しい地域であるタンハー村に、井戸や学校を建設したことがその端緒です。

その後、この井戸は広範囲に及ぶ農業用灌漑システムに発展、飲料水だけでなく農作物の収穫量を改善することに成功しています。続いて、厳しい栄養状態の子供たちの健康改善に役立てるために乳牛を4頭贈り、現地でのミルクの独自配給を開始しました。あわせて地元の方々のために漢方薬用の薬草栽培、漢方医の育成、診療所の建設などに対する支援、また、通学距離の長い子供たちへの自転車提供の支援なども行ってきました。

2. 広がりとつある支援

現在では、他のNGOの協力もあり、広大な地域での灌漑設備を整え、肉牛や豚の飼育、バイオマスによるガス設備や発電設備など、未来型の農業に向かって開発が続けられています。

タンハー村に建設した診療所は、毎週200名ほどの人々が訪れて、無料で治療を受けています。薬草園は2ヘクタール以上あり、さまざまな薬草や花などを育て、換金作物としての役割や貧しい農村地域の若者の就学就農の機会提供の場ともなっています。



3. ひとを育てるために

さらに、看護師として農民のための医療活動を続け、さらに医師を目指したシスター・リエンのためにカントー大学医学部の学費を支援して参りました。2012年に無事に卒業したことを受け、できるだけ早急に現地の状況を視察、長期的な視野に立っての継続的な支援を考えています。

現地の発展は目覚ましいものがありますが、長期的な支援の継続がその維持には欠かせません。皆さまのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

役員・ボランティアからの一言

20年目を迎えるHINTを運営している役員、ボランティアの方の声をお届けします。どなたでも参加できますので、ご興味を持たれた方は、まず毎月最終土曜日に行われる役員会にご参

加ください。

☆アフリカ担当 藤井記雄

かなり以前からHINTの存在は知っていましたし、何度か寄付もしていました。しかし、転勤等があり、実際に当時あったエポペの扉を叩いてHINTの理事会に参加したのは2010年9月でした。それから2、3か月後だと記憶していますが、コンゴのタデー氏へ英文メールを送付しなくてはならないという話になり、私が「やります」と手を挙げたのが、まさにコンゴとの出会いの始まりでした。

☆情報担当 酒井匠

私がHINTに参加して17年が経ちました。最初の取り組みは「最貧国債務を帳消しに！ジュビリー2000」プロジェクトでした。沖縄で開かれた国際会議の会場内を、質問で挙げた手を目指してマイクを持って走り回ったことを覚えています。私はほとんど英語が理解できませんが、その時会場から上った「ありがとう」の声と拍手を今でもはっきり覚えています。

その後ベトナムにスタディツアーに行った時も、ほぼ「身振り手振り」でしか会話できませんでしたでしたが、現地の生活に触れることで伝わって来るものを感じました。

今は仕事の都合で神戸に住んでおり、メールのやりとりが中心ですが、ベトナムやコンゴ、そしてHINTを支えてくださっている多くの方々へ「思いは必ずどこかで繋がっている」と信じて情報発信などの業務を行なっています。

☆監事 國府俊明

私は監事ということで、決算の時にしか主要なお役目がなく、理事会での議決権はないので、オブザーバーとして毎回理事会に参加しています。それだけでなく、ニュースレター用の振込用紙印刷や、封筒の差出人印刷を手伝っています。HINTはいろいろなことを手作りして、経費を節約しています。また、私は年金暮らしで平日の昼間の時間が空いているので、理事会用の会議室の予約も担当しています。毎月10日が次の月の予約開始日なので、この日に予約に行きます。毎回空き室があるかどうか、ヒヤヒヤしながらも、なんとか予約が取れています。

☆ボランティア 渡辺潤子

HINTに入って4年経過。「健康上の理由で自信がないから、毎回出席はできないかも……」

と言いつつ、結果的には毎回、飲み会……いえ、理事会に顔を出している私。こんなマイペースもありかな。現在進行形でいきたいと思っています。

☆ベトナム担当 末吉孝幸

普通のサラリーマンによる、できる範囲での海外支援、という基本的なコンセプトに共感をし、参加させていただきました。役員でありながら、最近では親が病気がち、要介護になるなどバタバタしていて、参加できておらず申し訳ない限りです。期間だけは長いのですが……。周りの皆さんの支えでここまでできました。皆さまHINTへのご支援方どうぞよろしく願いいたします。

☆広報担当 桐山泰征

他者を思いやる力が無くなれば、私たちの社会は成り立ちません。あなたと私の未来を創るひとつの方法があります。それは、あなたの翼を広げて、私たちのところへお出でかけください。できるときに、できることだけ、力を出し合いましょ。

☆事務局長代行 長野圭子

私に事務局長の代わりが務まるのだろうか、と引き受けてから不安がいっぱい、始まったHINTの活動。それからかれこれ14年あまり。皆さんに助けていただきながら、「できることを、できるときに、できるだけ」というHINTのモットーを大切に活動してきました。

ボランティアは貯金と一緒に。いつか貯めようと思ってもお金は貯まらないように、いつかボランティアをしようでは、なかなかできません。あらかじめあなたの時間をボランティアのために空けておくということが、ボランティアの初めの一歩だと思います。

☆事務局長 石田達也

HINTが産声を上げて間もない頃、阪神大震災にHINTを代表して行かせていただきました。それから数十年が経ち、東日本大震災が発生。私の3人の子供たちは仲間たちと被災地へ向かいました。難しく見えることでも、仲間とともにできることに関わってまいりました。HINTという母体があったからこそこのこと……そのことに感謝！



会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿
(2013/11/1~2014/4/30・順不同・敬称略)

| | |
|----------|-----------|
| 東矢 高明 | 末永 秀雄・美津代 |
| 藤井 記雄 | 大野 容子 |
| 香取 嘉憲 | 大黒 康子 |
| 安達 裕美 | 池田 ゆう子 |
| 末永 恵子 | 野坂 俊弥 |
| 四條 淳也 | 長本 孝一 |
| 篠塚 彰・久美子 | 古城 かおる |
| 佐藤 健一 | 谷口 義武 |
| 高澤 佳代乃 | 桐山 泰征 |
| 高倍 宣義 | 国府 俊明 |
| 国分 一也 | 進藤 重光 |
| 山田 篤 | 末吉 孝幸 |
| 田中 三一子 | 石田 達也 |
| 桃井 和馬 | 神山 和美 |
| 石間 裕 | 高田 真希子 |
| 碓井 徹 | 佐賀 邦夫 |
| 捧 亮平 | オリビエ・シュガレ |
| 小林 貞 | 禹 満 |
| 加藤 順子 | 三橋 重一・理江子 |
| 島田 恒 | 匿名の皆様 |

ご支援・ご協力ありがとうございました。

★上記期間内に会費を納入されている方やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINT は皆さまの会費で運営されています。年会費 5,000 円で、ベトナムでは約 500 人分の給食を提供できます。コンゴでは中高生約 2 人分の 1 年間の学費です。ご支援ご協力をお願い申し上げます。

★封筒ラベルの一番下にある日付が、貴方の最終お振り込み日です。

★2 年間会費のお振り込みのない場合は、会員資格を失い、以後ニュースレター等の送付が行われなくなります。

★お振り込みは、同封の振込用紙でお願いいたします。郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

HINT 事務局からのお知らせ

《総会のお知らせ》

● 2014 年度総会及び活動報告会を開催します

日時：2014年6月21日(土)14:00～15:00
場所：カトリック松原教会 2階 ホール
京王線明大前駅下車 徒歩4分
世田谷区松原 2-28-5

議題：2013 年度活動報告、2013 年度決算、
2014 年度役員改選、2014 年度活動
計画、2014 年度予算計画等

どなたでもご参加いただけます。HINT
の活動について、ご関心のある方は是非
おいで下さい。事前のご連絡は不要です。



● 2014 年度 HINT 役員を募集します

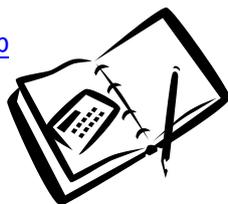
HINT の実務にかかわっていただける方
を募集しています。上記の総会で選任さ
れます。毎月最終土曜日の理事会に出席
し、HINT の活動内容の決定や、事務など
を担当していただきます。

皆さまの積極的な立候補をお待ちして
います。

連絡先：HINT 事務局

電話&FAX:03-6279-1080

E-mail:hint_info@epopee.co.jp



《今後の活動予定》

● 講演会を開催します

日時：2014年6月21日(土)15:00～17:00
場所：カトリック松原教会 2階 ホール
世田谷区松原 2-28-5 (左の地図参照)

講演者：オノレ・カブンディ

カトリック司祭(松原教会助任・
淳心会)、コンゴ民主共和国出身

題目：コンゴの危機と教育問題、希望をも
って未来を迎える子どもたち

会費：無料

* 総会に引き続いて行ないます。事前申
込は不要です。

● 赤羽教会チャリティーコンサートに出展します

日時：2014年8月31日(日)13:30～
場所：カトリック赤羽教会 信徒会館2階

出演者：サムエル(歌手)、山口ブラザ
ーズバンド(YBB)、「フラナネ
ア」(フラダンス)、フルート
&アルタ演奏、早稲田大学マン
ドリン楽部、「エバーグリーン
クワイア」(コーラス)

入場料：前売り1,500円、当日2,000円

アジアとアフリカの子供のためのチャ
リティーコンサートです。歌あり踊りあ
り、どなたでも楽しめる催しです。HINT
は支援先の雑貨を紹介し、活動を知って
いただけるようPRします。

● グローバルフェスタ JAPAN2014 に出展 します

日時：2014年10月4日(土)、5日(日)
両日とも10:00～17:00

場所：日比谷公園

すっかり定着した国際協力のイベント
です。世界各国の珍しい料理や、美しい
民族衣装がたくさんのお祭りです。楽し
むことはもちろん、知らない国々に触れ
ることができ勉強にもなります。活動紹
介を通じて多くの方々にHINTを知って、参
加していただけたらと思っております。

＜特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク (HINT) 事務局＞

〒164-0002 東京都中野区上高田 3-24-7 平兵衛内

電話&FAX:03-6279-1080

E-mail:hint_info@epopee.co.jp

Web:<http://www.epopee.co.jp/hint>